

令和8年6月

卒業生・修了生・就職先アンケート調査集計結果報告書

北海道医療大学
点検・評価全学審議会

点検・評価全学審議会は、内部質保証システムを構築し、多角的な視点により点検・評価を実施することとし、本学の教育理念・教育目標を達成するための大学づくりを目指しています。

その一環として、卒業生・修了生の皆様に対し、教育の満足度、在学中に身に付けた能力、能力・経験の実社会での有用度、教育や学生支援等の改善点などについて、また卒業生・修了生の就職先の法人に対し、卒業生・修了生に対する評価、求める能力および学生時代に身に付けておくべき能力やその他本学の教育内容等について評価・意見を聴取するため、アンケート調査を実施しました。協力いただいた卒業生・修了生各位及び各法人の皆様に対し厚くお礼を申し上げますと共に、その集計結果をホームページに公表致します。

なお、皆様からお寄せいただいた貴重な評価・ご意見を今後の本学における教育のあり方についての点検・評価の基礎資料として活用させていただきます。

令和8年2月実施 卒業生アンケート【大学】

送付対象：令和4年度卒業生（同窓会にて現住所を把握している者）

送付対象数：638名 回答数：61 回答率：7.1%

回答受付期間：令和8年1月15日～2月15日

I. 基本事項

1. 卒業学部

学部	学科	送付数	回答数	回答率
薬学部	薬学科	137	13	9.5%
歯学部	歯学科	50	6	12.0%
看護福祉学部	看護学科	113	5	4.4%
看護福祉学部	臨床福祉学科	41	6	14.6%
心理科学部	臨床心理学科	61	6	9.8%
リハビリテーション科学部	理学療法学科	83	15	18.1%
リハビリテーション科学部	作業療法学科	34	4	11.8%
リハビリテーション科学部	言語聴覚療法学科	63	2	3.2%
医療技術学部	臨床検査学科	56	4	7.1%

2. 性別

男性	17
女性	44

3. 現住所（都道府県）

北海道	47
岩手県	1
宮城県	2
福島県	1
埼玉県	1
千葉県	1
東京都	1
神奈川県	5
広島県	1
福岡県	1

4. 現在の職業

医療・福祉	51
卸売・小売業	1
教育・学習支援業	1
宿泊・飲食サービス業	1
情報通信業	1
学生	4
無職	1
その他サービス業	1

5. 現在の就業形態

正社員	48
派遣社員・契約社員	7
自営業	1

6. (転職経験者のみ) 卒業後、どのくらいの期間を経て転職したか

半年以内	4
一年以内	1
二年以内	5

7. (転職経験者のみ) 転職を決めた理由 ※複数回答可

1. キャリアアップ	3
2. 仕事内容	5
3. 給与・労働条件	6
4. 人事・研修制度	2
5. 人間関係	4
6. 社風・経営方針	1
7. イメージしていた職場・仕事とのギャップ	4
8. 家庭の事情	1

以下、その他記述

一般企業で働きたかった

8. 教育内容全般に対する満足度

満足	18	} 85.2%
やや満足	34	
やや不満	8	
不満	1	

9. 学習や研究に関する施設、設備、備品に対する満足度

十分	20	} 91.8%
概ね十分	36	
やや不十分	4	
不十分	1	

10. 学生生活全般に関する施設、設備、備品に対する満足度

十分	15	} 85.2%
概ね十分	37	
やや不十分	7	
不十分	2	

11. 就職活動への支援体制に対する満足度

十分	17	} 75.4%
概ね十分	29	
やや不十分	11	
不十分	4	

12. 教員への質問や相談体制の満足度

そう思う	33	} 86.9%
ややそう思う	20	
あまりそう思わない	7	
そう思わない	1	

13. 学生生活による自分自身の成長度

とても成長した	30	} 90.2%
少し成長した	25	
あまり成長していない	4	
成長していない	2	

14. 在学中に身についたと思うもの（複数可）

<薬学部・薬学科>

	4. 身についた	3. 概ね身についた	2. あまり身につかなかった	1. 身につかなかった
A. 医療人として求められる高い倫理観	3	10	1	0
B. 関係法令の理解	3	10	1	0
C. 他者を思いやる豊かな人間性	5	8	1	0
D. 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識	4	7	3	0
E. 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域的および国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力	3	3	5	3
F. 医療の進歩に対応できる柔軟性	2	6	5	2
G. 臨床における問題点を発見・解決する能力	3	8	4	0
H. 後進の育成に努め、かつ生涯にわたって常に学び続ける姿勢と意欲	4	5	4	1

<歯学部・歯学科>

	4. 身についた	3. 概ね身についた	2. あまり身につかなかった	1. 身につかなかった
A. 人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術	3	3	0	1
B. 「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観	4	1	1	1
C. 他者を思いやる豊かな人間性	2	3	1	1
D. 優れたコミュニケーション能力	2	4	1	0
E. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力	2	3	0	2
F. 多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる力	2	2	1	2
G. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力	2	3	0	2

<看護福祉学部・看護学科>

	4. 身についた	3. 概ね身についた	2. あまり身につかなかった	1. 身につかなかった
A. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観	1	6	0	0
B. 豊かな人間性	3	3	1	0
C. 看護専門職に必要な知識・技術	1	4	2	0
D. 健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力	2	3	2	0
E. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽する力	2	5	0	0
F. 自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力	1	5	1	0
G. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力	1	4	2	0
H. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力	1	4	2	0

<看護福祉学部・臨床福祉学科（現：福祉マネジメント学科）>

	4. 身についた	3. 概ね身についた	2. あまり身につかなかった	1. 身につかなかった
A. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観	2	3	3	0
B. 豊かな人間性	2	3	3	0
C. 福祉専門職に必要な知識・技術	2	4	2	0
D. 健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力	2	3	3	0
E. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽する力	2	4	2	0
F. 自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力	2	4	2	0
G. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力	2	4	2	0
H. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力	3	3	2	0

<心理科学部・臨床心理学科>

	4. 身についた	3. 概ね身についた	2. あまり身につかなかった	1. 身につかなかった
A. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識	3	5	0	0
B. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて教養と専門性を維持向上させる能力	4	2	1	0
C. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能	4	3	0	0

<リハビリテーション科学部・理学療法学科>

	4. 身についた	3. 概ね身についた	2. あまり身につかなかった	1. 身につかなかった
A. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養	6	8	1	0
B. 豊かな人間性	8	6	1	0
C. 高い倫理観	6	6	3	0
D. 優れたコミュニケーション能力	7	6	2	0
E. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力	6	5	4	0
F. 理学療法士/作業療法士/言語聴覚士 として必要な科学的知識や技術	5	6	4	0
G. 心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力	5	7	3	0
H. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力	6	5	4	0
I. 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力	4	6	3	2
J. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を実践できる能力	3	7	5	0

<リハビリテーション科学部・作業療法学科>

	4. 身についた	3. 概ね身についた	2. あまり身につかなかった	1. 身につかなかった
A. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養	0	4	0	0
B. 豊かな人間性	1	3	0	0
C. 高い倫理観	0	3	1	0
D. 優れたコミュニケーション能力	1	3	0	0
E. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力	0	2	2	0
F. 理学療法士/作業療法士/言語聴覚士 として必要な科学的知識や技術	1	2	1	0
G. 心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力	0	3	1	0
H. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力	0	4	0	0
I. 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力	0	2	1	1
J. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を実践できる能力	0	4	0	0

<リハビリテーション科学部・言語聴覚療法学科>

	4. 身についた	3. 概ね身についた	2. あまり身につかなかった	1. 身につかなかった
A. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養	0	1	1	0
B. 豊かな人間性	0	1	1	0
C. 高い倫理観	0	1	1	0
D. 優れたコミュニケーション能力	0	0	2	0
E. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力	0	1	1	0
F. 理学療法士/作業療法士/言語聴覚士 として必要な科学的知識や技術	0	2	0	0
G. 心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力	0	2	0	0
H. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力	1	1	0	0
I. 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力	0	2	0	0
J. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を実践できる能力	0	2	0	0

<医療技術学部・臨床検査学科>

	4. 身についた	3. 概ね身についた	2. あまり身につかなかった	1. 身につかなかった
A. 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性	0	4	0	0
B. 幅広い教養	1	2	1	0
C. 高い倫理観	2	2	0	0
D. 臨床検査に必要な知識と技術	0	2	2	0
E. 先進・高度化する医療に対応できる実践能力	0	2	2	0
F. 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性	0	2	2	0
G. 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢	0	2	2	0
H. 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力	0	2	2	0
I. 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力	0	2	2	0

15. 学んだことや経験したことが仕事に役立っているか

役に立っている	21	} 86.9%
ある程度役に立っている	32	
あまり役に立っていない	6	
役に立っていない	2	

16. 学んだことや経験したことが日常生活で役立っているか

役に立っている	16	} 75.4%
ある程度役に立っている	30	
あまり役に立っていない	10	
役に立っていない	5	

17. 在学中にもっと身につけておきたかったこと、やっておけばよかったと思うもの（複数可）

1. 一般的な教養	22
2. 専門知識、技術	33
3. 語学力	20
4. プレゼンテーション能力	24
5. コミュニケーション能力	17
6. IT活用能力	16
7. 一般常識	22
8. マナー	19
9. 資格の取得	20
10. クラブ・サークル活動	11

その他

将来的にどうしたいかを考えておけば良かった

研究について

自分の心に従うこと。違和感を放置しないこと。自分の人生に対してより自覚をもつこと。学びたい分野を学べない環境から抜ける勇気をもつこと。毎年シラバスを確認してカリキュラムの変更を確認すること。

18. 社会において本学の評価は高いと思うか

そう思う	12	} 73.8%
概ねそう思う	33	
あまりそう思わない	12	
そう思わない	4	

19. 本学を卒業したことに満足しているか

満足している	27	} 88.5%
概ね満足している	27	
あまり満足していない	5	
満足していない	2	

20. 本学への進学を周りの家族・知人など、受験予定の方に勧めたいと思うか

そう思う	14	} 73.8%
概ねそう思う	31	
あまりそう思わない	12	
そう思わない	4	

21. 在学中に教育や学生支援で充実・改善してほしかったこと

1. 全学教育科目（一般教養科目）	13
2. 専門科目	17
3. 臨床実習	14
4. 国家試験対策	13
5. 奨学金	11
6. 就職支援	16
7. 各業界・職種に関する説明 （キャリアビジョンや詳細な仕事内容など）	17
8. インターンシップ （国家資格に関する実習以外の職業体験）	12
9. 留学・国際交流	6
10. コミュニケーション能力の育成	9
11. 論理的思考力の育成	6
12. 人間性の育成	6
13. 施設の充実（教室や学食など）	11
14. 学部間の交流	17
15. 卒業生との交流	9
16. 地域との交流・地域連携に関する取り組み	2
17. クラブ・サークル活動	7
18. 国家資格以外の資格取得（簿記やTOEICなど）	22

その他

将来独立を考えている人への支援

研修医先を決める際にそのOBを探しやすく、交流を持てるシステムが欲しかった
学会発表

22. 本学をより良いものにしていくための意見や要望 [7件]

令和7年2月実施 修了生アンケート【大学院】

送付対象：令和4年度修了生（現住所を把握している者）

送付対象数：49名

回答数：5

回答率：10.2%

回答受付期間：令和8年1月15日～2月15日

I. 基本事項

1. 修了した研究科

研究科	専攻	対象数	回答数	回答率
薬学研究科	薬学専攻	3	0	0.0%
歯学研究科	歯学専攻	7	0	0.0%
看護福祉学研究科	看護学専攻	12	3	25.0%
看護福祉学研究科	臨床福祉学専攻	3	1	33.3%
心理科学研究科	臨床心理学専攻	16	0	0.0%
リハビリテーション科学研究科	リハビリテーション科学専攻	8	1	12.5%

2. 修了した課程

博士課程（4年制）	0
博士前期課程（修士課程）	4
博士後期課程	1

3. 性別

男性	1
女性	4

4. 現住所（都道府県）

北海道	5
-----	---

5. 現在の職業

医療・福祉	2
教育・学習支援業	2
学校教育	1

6. 教育内容全般に対する満足度

満足	3	} 100.0%
概ね満足	2	
やや不満	0	
不満	0	

7. 教育や研究に関する施設、設備、備品に対する満足度

十分	3	} 100.0%
概ね十分	2	
やや不十分	0	
不十分	0	

8. 気軽に教員への質問や相談できたか

そう思う	1	} 100.0%
ややそう思う	4	
あまりそう思わない	0	
そう思わない	0	

9. 修得すべき知識・能力の修得の度合い

身についた	1	} 100.0%
概ね身についた	4	
あまり身につかなかった	0	
身につかなかった	0	

10-1 (修士) . 在学中の教育全体を通して身に付いたと思うもの (複数可)

1. 課題発見能力	2
2. 課題解決能力	2
3. 高度専門職能の基礎となる学識	2
4. 論文作成能力	3
5. チーム医療への対応力	2
6. コミュニケーション能力	2
7. 国際的な視野	1
8. 高い倫理観	1
9. 自己研鑽能力	3

10-2 (博士) . 在学中の教育全体を通して身に付いたと思うもの (複数可)

1. 研究計画能力	2
2. 研究実践能力	2
3. 課題発見能力	2
4. 課題解決能力	1
5. 高度専門知識	2
6. 論文作成能力	2
7. コミュニケーション能力	1
8. 国際的な視野	1
9. 高い倫理観	1
10. 自己研鑽能力	2
11. 知的技術者 (高度実践技術者) としての能力	1
12. 専門分野における指導者の能力	2

11. 学んだことや経験したことが仕事に役立っているか

役立っている	3	} 100.0%
ある程度役立っている	2	
あまり役立っていない	0	
役立っていない	0	

12. 在学中にもっと身につけておきたかったこと、やっておけばよかったと思うもの (複数可) [2件]

研究の方法論についてもう少し勉強しておけばよかったです
文書を構成する力

13. 社会において本学の評価は高いと思うか

そう思う	3	} 100.0%
概ねそう思う	2	
あまりそう思わない	0	
まりそう思わない	0	

14. 本学大学院を修了したことに満足しているか

満足	3	} 100.0%
概ね満足	2	
あまり満足していない	0	
満足していない	0	

15. 本学大学院における教育研究や学生支援をより良いものにしていくための意見や要望 [2件]

令和8年2月実施 卒業生アンケート【専門学校】

送付対象：令和4年度卒業生

送付対象数：26名

回答数：1

回答率：3.8%

回答受付期間：令和7年2月14日～3月14日

I. 基本事項

1. 現住所

札幌市	1
-----	---

2. 現在の勤務先

歯科医院・歯科クリニック	1
--------------	---

3. 現在の就業形態等

正社員	1
-----	---

4. (転職経験者のみ) 卒業後、どのくらいの期間を経て転職したか

回答無し	1
------	---

5. (転職経験者のみ) 転職を決めた理由

回答無し	1
------	---

6. 教育内容全般に対する満足度

満足	1
----	---

7. 勉学に関する施設、設備、備品に対する満足度

十分	1
----	---

8. 学生生活全般に関する施設、設備、備品に対する満足度

十分	1
----	---

9. 就職活動への支援体制に対する満足度

十分	1
----	---

10. 教員への質問や相談体制の満足度

そう思う	1
------	---

11. 学生生活による自分自身の成長度

とても成長した	1
---------	---

12. 在学中に身に付いたと思うもの（複数可）

基準：4. 身についた 3. 概ね身についた 2. あまり身につかなかった 1. 身につかなかった

	回答4	回答3	回答2	回答1	4・3 回答率
A 歯科衛生士に必要な知識・技能	1	0	0	0	100.0%
B 科学的な思考力	1	0	0	0	100.0%
C 高い使命感と倫理観	1	0	0	0	100.0%
D 豊かな人間性	1	0	0	0	100.0%
E チーム医療に貢献できるコミュニケーション能力及び実践力	1	0	0	0	100.0%
F 口腔保健の専門家として生涯にわたって自己研鑽する向上心や探求心	1	0	0	0	100.0%

13. 学んだことや経験したことが仕事に役立っているか

ある程度役に立っている	1
-------------	---

14. 学んだことや経験したことが日常生活で役立っているか

役に立っている	1
---------	---

15. 在学中にもっと身につけておきたかったこと、やっておけばよかったと思うもの（複数可）

1. 一般的な教養	0
2. 専門知識、技術	1
3. 語学力	1
4. プレゼンテーション能力	0
5. コミュニケーション能力	0
6. IT活用能力	1
7. 一般常識	0
8. マナー	0
9. 資格の取得	0
10. クラブ・サークル活動	0

16. 社会において本学の評価は高いと思うか

そう思う	1
------	---

17. 本学を卒業したことに満足しているか

満足している	1
--------	---

18. 本学への進学を周りの家族・知人など、受験予定の方に勧めたいと思うか

そう思う	1
------	---

19. 在学中に教育や学生支援で充実・改善してほしかったこと

1. 全学教育科目（一般教養科目）	0
2. 専門科目	0
3. 臨床実習	0
4. 国家試験対策	0
5. 奨学金	0
6. 就職支援	0
7. 各業界・職種に関する説明（キャリアビジョンや詳細な仕事内容など）	0
8. インターンシップ（国家資格に関する実習以外の職業体験）	0
9. 留学・国際交流	0
10. コミュニケーション能力の育成	0
11. 論理的思考力の育成	0
12. 人間性の育成	0
13. 施設の充実（教室や学食など）	0
14. 学部間の交流	0
15. 卒業生との交流	0
16. 地域との交流・地域連携に関する取り組み	0
17. クラブ・サークル活動	0
18. 国家資格以外の資格取得（簿記やTOEICなど）	0

20. 本学をより良いものにしていくための意見や要望〔0件〕

令和8年2月実施 就職先アンケート【大学・大学院】

送付対象：令和4年度～令和6年度に卒業生・修了生を採用した法人

送付対象数：130 回答数：36 回答率：27.6%

回答受付期間：令和8年1月15日～2月15日

I. 法人概要

1. 従業員規模

～50人	8
51～100人	4
101～300人	12
301～500人	4
500人以上	8

2. 業種

医療・福祉	30
公務	3
運輸・郵便業	1
教育・学習支援業	1
民間学童保育	1

3. 本社所在地

北海道	29
東京都	4
神奈川県	1
三重県	1
鹿児島県	1

4. 過去3年間に採用した卒業生・修了生のうち、現在も勤務している人数

1人	16
2～5人	13
6～10人	3
11～20人	1
21人以上	0
不明	3

5. 上記4の出身学部・研究科別内訳

	1人	2~5人	6人以上
薬学部	2	3	1
看護福祉学部看護学科	3	2	1
看護福祉学部福祉マネジメント学科	3	1	0
リハビリテーション科学部理学療法学科	9	3	1
リハビリテーション科学部作業療法学科	4	0	0
リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科	5	1	0
看護福祉学研究科看護学専攻	0	1	0
心理科学研究科臨床心理学専攻	1	0	0
リハビリテーション科学研究科	1	0	0

6. 職務に対する能力や水準についての全体的な評価

高い	13	} 83.3%
どちらかといえば高い	17	
どちらともいえない	6	
どちらかといえば低い	0	
低い	0	

7. 職務に対する能力や意識の水準についての職種別評価

	高い	どちらかといえ ば高い	どちらともい えない	どちらかといえ ば低い	低い	該当なし・無 回答
薬剤師	4	3	0	0	1	28
歯科医師	0	0	1	0	0	35
看護師・保健師	3	1	2	0	0	30
社会福祉士・精神保健福祉 士・介護福祉士	3	3	1	0	0	29
公認心理師・臨床心理士	1	1	1	0	0	33
理学療法士・作業療法士・ 言語聴覚士	3	12	2	0	0	19
臨床検査技師	1	2	0	0	0	33
営業職	0	0	1	0	0	35
事務職	2	0	0	0	0	34
その他の職種	2	1	0	0	0	33

8. 全体として以下の能力・技術・態度等を身につけているか

	身につけている	ほぼ身につけている	どちらともいえない	あまり身につけていない	身につけていない	無回答
専門知識、技術	11	14	9	0	0	2
協調性	14	17	2	1	0	2
思いやり・優しさ	17	15	2	0	0	2
倫理観	15	15	3	0	0	3
責任感	18	14	2	0	0	2
自己研鑽能力	14	13	7	0	0	2
積極性	14	13	5	1	0	3
粘り強さ	15	11	8	0	0	2
打たれ強さ	12	10	9	3	0	2
コミュニケーション能力	16	14	3	1	0	2
自主性・創造性	10	14	8	2	0	2
リーダーシップ	9	11	12	2	0	2
課題発見能力	10	11	12	1	0	2
課題解決能力	8	14	10	2	0	2
一般常識	15	14	5	0	0	2
マナー	15	13	5	1	0	2
I T 活用能力	9	9	15	1	0	2
プレゼンテーション能力	9	8	14	3	0	2

9. 本学卒業生・修了生は人材ニーズや期待に添えているか

十分添えている	16	} 88.9%
どちらかといえば添えている	16	
どちらともいえない	4	
不足している	0	

10. 学生時代に身につけておいてほしい能力・技術・態度や、経験しておいてほしいこと（19件）

コミュニケーション能力

主体性

講義や演習による専門知識や理論の習得にとどまらず、学生時代の生活全般を通じて、様々な世代や境遇の人とできるだけ多く触れる機会を持ち、その経験をもって専門職としてのキャリアを積んでいっていただきたいと思います。

接遇

注意や指導を素直に「受け入れる力」を持つて欲しいと思います。

一般マナーとして、上司などに報告、連絡、相談が自然と行われることが望ましいです。自己都合解釈等は、会社への影響が大きい場合が起こり得るため、身につけては欲しいです。

道徳、倫理、接遇

今いる場所において「より良い」を目指す時に自分に何ができるのかを考え実践していく力。必要とされていることが出来るように自分を調整していく力。

対人関係調整力

アルバイトなどの社会経験は仕組みを理解するうえでも有用かと思しますので、忙しい中ではあるかと思いますが、異業種の仕事を体験するという事は良いかと思します。

対人交流、集団適応能力。趣味や生きがいを持つこと。

対人関係構築力。接客業やチームで協働するアルバイト等の経験を通して、社会人としての基礎的コミュニケーションや、相手に配慮した関わり方を体験として学んでおくことが望ましい。

多くの人と関わる中で、相手の想いを汲み取るコミュニケーション能力や、周囲と手を取り合う協調性を大切に育てていただけたらと思します。

相手の立場に立つ「共感・思いやり」を持ちつつも、自身のメンタルヘルスを維持し、ストレスフルな状況から立ち直る「レジリエンス」も長く働くために必要です。

文章力やプレゼン能力、社会人としての一般的なマナーなどの接遇面

コミュニケーション能力

Ⅲ. 採用基準

11. 学生を採用するにあたって重視している点

1. 基礎知識・教養	21
2. 専門知識・技術	11
3. 職務能力の適正	16
4. 人物評価（積極性・協調性など）	35
5. 課外活動経験（サークル・ボランティアなど）	6
6. キャリア・学歴	1
他. 健康	2

12. 業務を遂行するうえで重要と思われる能力・態度等

	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
専門知識・技術	16	11	6	2	0	1
協調性	29	6	0	0	0	1
思いやり・優しさ	31	3	0	0	0	2
倫理観	27	8	0	0	0	1
責任感	27	7	1	0	0	1
自己研鑽能力	23	10	2	0	0	1
積極性	23	10	2	0	0	1
粘り強さ	21	13	1	0	0	1
打たれ強さ	18	15	2	0	0	1
コミュニケーション能力	30	5	0	0	0	1
自主性・創造性	15	18	1	0	0	2
リーダーシップ	12	19	4	0	0	1
課題発見能力	19	11	4	0	0	2
課題解決能力	20	11	4	0	0	1
一般常識	23	11	0	0	0	2
マナー	26	9	0	0	0	1
IT活用能力	10	17	8	0	0	1
プレゼンテーション能力	9	17	7	2	0	1

13. 本学及び卒業生・修了生のイメージ、本学の教育に対する意見・要望（自由記述）（13件）

令和8年2月実施 就職先アンケート【歯科衛生士専門学校】

送付対象：令和4年度～令和6年度に卒業生を採用した法人

送付対象数：32 回答数：15 回答率：46.8%

回答受付期間：令和8年1月15日～2月15日

I. 法人概要

1. 本社所在地

札幌市	9
釧路市	1
登別市	1
滝川市	1
北広島市	1
平取町	1
東京都多摩市	1

2. 過去3年間に採用した卒業生のうち、現在も勤務している人数

1人	8
2～5人	6

3. 職務に対する能力や水準についての全体的な評価

5. 高い	5
4. どちらかといえば高い	3
3. どちらともいえない	4
2. どちらかといえば低い	1
1. 低い	0

4. 全体として以下の能力・技術・態度等を身につけているか

	身につけている	ほぼ身につけている	どちらともいえない	あまり身につけていない	身につけていない	無回答
専門知識、技術	1	6	4	2	1	1
協調性	5	4	3	1	1	1
思いやり・優しさ	5	5	4	0	0	1
倫理観	3	2	6	3	0	1
責任感	3	2	6	3	0	1
自己研鑽能力	4	4	2	3	1	1
積極性	4	4	3	2	1	1
粘り強さ	2	5	5	1	1	1
打たれ強さ	0	7	3	3	1	1
コミュニケーション能力	5	5	3	1	0	1
自主性・創造性	3	3	4	4	0	1
リーダーシップ	4	3	5	2	0	1
課題発見能力	1	5	2	5	1	1
課題解決能力	1	3	5	4	1	1
一般常識	4	4	4	1	1	1
マナー	5	5	3	1	0	1
IT活用能力	2	2	7	2	1	1
プレゼンテーション能力	1	4	5	2	2	1

5. 本校卒業生は人材ニーズや期待に応えているか

5. 十分応えている	7
4. どちらかといえば応えている	3
3. どちらともいえない	2
2. やや不足している	1
1. 不足している	1

6. 学生時代に身につけておいてほしい能力・技術・態度や、経験しておいてほしいこと [7件]

コミュニケーション能力、医療倫理観、自己研鑽の姿勢と意味
向上心、積極性、患者に対する優しさ思いやり、他のスタッフとの協調性など
コミュニケーション
医療人の倫理観(基本的には自己犠牲の精神が必要な事)
あいさつがきちんとできる事
クレームに対する対応方法
卒業してからの自己研鑽力

Ⅲ. 採用基準

7. 学生を採用するにあたって重視している点 ※複数回答可

基礎知識・教養	7
専門知識・技術	1
職務能力の適正	5
人物評価	14
課外活動経験(サークル・ボランティアなど)	2
キャリア・学歴	1
素直さ	1

8. 業務を遂行するうえで重要と思われる能力・態度等

	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
専門知識・技術	9	1	2	3	0
協調性	15	0	0	0	0
思いやり・優しさ	12	2	1	0	0
倫理観	9	1	5	0	0
責任感	10	4	0	1	0
自己研鑽能力	8	6	1	0	0
積極性	8	6	1	0	0
粘り強さ	10	3	2	0	0
打たれ強さ	10	3	2	0	0
コミュニケーション能力	11	4	0	0	0
自主性・創造性	4	6	5	0	0
リーダーシップ	4	5	5	1	0
課題発見能力	5	9	1	0	0
課題解決能力	5	8	2	0	0
一般常識	13	2	0	0	0
マナー	12	3	0	0	0
IT活用能力	3	7	3	2	0
プレゼンテーション能力	3	5	6	1	0

9. 本校及び卒業生のイメージ、本校の教育に対する意見・要望（自由記述） [9件]